Rosa Plumula
ローザ・プルムラ
茨城大学　大学教育センター　ニュースレター No.51

学生の皆さんに期待すること

理事・副学長（教育担当）　伏見　厚次郎

2009年に四年制大学への進学率が50％を越え「大学全入時代」と呼ばれるようになりましたが、最近、大学での教育にも、単に与えられたものだけを学修するのではなく物事の本質を見極め自ら課題を分析し解決方法を考え実行する能力（課題解決能力）の育成が強く求められるようになってきています。このような要請に対応すべく、茨城大学ではここ何年かの間に幾つかの重要な教育改革を行いました。例えば、成績評価の厳格化のため成績評価基準の変更を行い、学修の状況や成果を示す指標のＧＰＡ制度や単位の過剰履修を防ぐＣＡＰ制を導入しました。平成27年度からは、教育課程の体系化のために科目ナンバリングを導入し、学生が主体的に問題を発見しその解決方法を見出していくアクティブ・ラーニング（能動的・主体的学修）の全学的導入を開始しました。その一つがこの4月から全学必修として開講されている「茨城学」であることはご存じだと思います。最終的には学士課程教育の授業科目の70％にアクティブ・ラーニングを導入することを目標としています。さらにグローバル化に対応し英語能力を客観的に把握するために、1年生全員にTOEICを年2回受験させることになり、既に7月に第1回目が実施されました。

ところで、2015年6月17日の参議院本会議で「改正公職選挙法」が全会一致で可決・成立したことは新聞報道などでご存じだと思います。これにより、18歳、19歳の未成年者約240万人が新たに有権者となり、来年夏に予定されている参議院選から適用されることになりました。現在１年次生の多くは来年夏の参議院選挙に有権者として国政選挙に直接参加することが出来るようになります。それに備えて、今から、内外の政治・経済などに対して興味・関心を持ち、そこに見られる諸問題を解決するためには一個人として何をなすべきかを真剣に考える必要があります。その際に、皆さんが学んでいる、自ら考え課題を解決していく「能動的・主体的学修」が大いに役に立つはずです。

本学での主体的な学修を通して皆さんが多面的に成長されることを期待しています。

ローザ・プルムラ　第51号

大学教育センター ニュースレター
平成27年10月発行

このニュースレターのタイトルはラテン語で「Rosa Plumula」。「薔薇の若芽」を意味します。茨城大学の校章はノイバラ（Rosa Multiflora）。春から初夏にかけてすくすく成長するノイバラの若枝の勢いを、本学に入学された１年次諸君に期待して命名しました。（2002年4月、谷口晋・初代大学教育研究開発センター長）

もくじ

学生の皆さんに期待すること……1
平成26年度 推奨授業表彰……2～3
“茨城学”を紹介します！……4～5
大学教育センターの基礎教育……6～7
後学期を迎えるにあたって（先輩からひとこと）……8
●農学部生物生産科学科3年 吉田　開
●工学部知能システム工学科４年 入倉 吉弘

平成26年度 推奨授業表彰

推奨授業表彰制度は、各年度終了後、教養科目の中から推奨授業を選定し、担当教員を表彰することによって、授業の質的向上を図ることを目的に、平成13年に制定されました。

推奨授業は、専任教員が担当する全ての正課授業を対象とし、「推奨授業推薦書」、「学生による授業評価」、「当該授業の成績評価」、「シラバス」などから教育上の創意工夫や教育技術等を総合的に評価し、各専門部会長の推薦に基づき、大学教育センター基礎教育運営委員会で選定されます。平成26年度推奨授業には、右の2つの授業が選定されました。

▲左から佐藤大学教育センター長、菅谷先生、三村学長、上地先生

受講学生からのコメント

ボディーワークⅠ(トリム)を受講して

人文学部社会科学科2年
今井　夏海

私は昔からスポーツがとても苦手で、苦手だからできなくてもしょうがない、やりたくない、と目を背けてきました。高校最後の体育の授業が終わったときには、「これでもう体育をしなくて済む」と嬉しくなったのを覚えています。大学入学後、大学でも体育のようなものはある、と知ってがっかりしました。ですが、授業を受けて、これは自分の健康のためなのだと分かりました。高校までは、体育の授業に加え、通学などで歩く機会も量も多く、自分から進んで運動しなくてもそれなりにできていたのかもしれません。しかし、大学に入ってからは、高校までと違って自分で意識しなければほとんど運動することがありません。今回、授業で体力測定をしたとき、自分の体力の現状を痛感しました。体力年齢は29歳、自分の年齢を10歳も上回っていました。特に、瞬発力は57歳で、自分の年齢を大幅に上回っていたことに驚きました。自分の体力の現状を知り、また、運動は自分の健康のためなのだと分かってからは、少しずつ意識して体を使うようになりました。例えば、エレベーターやエスカレーターはなるべく使うのを避け、階段を使うようにする、などです。こういった少しの意識でも、それを継続し、習慣にしていくことが大事だと思います。これまでスポーツは自分にはできないもの、と思ってきましたが、健康でいることのために必要なことだと考えを改め、今後も取り組んでいきたいと思います。

情報処理概論を受講して

人文学部人文コミュニケーション学科2年
北川　弥咲

推奨授業の受賞、おめでとうございます。この授業を受講した学生として、とても嬉しく思います。

私がこの授業を受けていた時、情報技術に馴染みのない人文学部の私達に、先生はとても分かりやすく教えてくださると感じていました。その理由として、次の2つを挙げたいと思います。

1つ目は学生同士の話し合いや発言の機会が適度にあったことです。これによって能動的に授業に参加しようという意欲が自然と高まり、同時に、自分の意見を持つようになるので、授業内容が強く印象に残るようになりました。

2つ目は授業で扱う題材や説明が学生にとって身近なものであったことです。具体的には、表計算ソフトを学ぶときの演習内容がテストの点数であったり、インターネットを活用した情報検索の演習課題が、地名を用いての交通費計算、最速・最短経路探索であったりしたことなどです。このような題材であったため、授業内容や課題に興味を持ちながら取り組むことができ、結果として情報活用のスキルを容易に身につけることができました。

この授業を通じ、情報技術がいかに現代社会や自分自身と関係するのかを知り、かつ積極的に情報活用に関わっていく態度を身につけることができました。

健康・スポーツ基礎教育専門部会推薦

身体活動・ボディーワークⅠ（トリム）

担当教員 上地　勝（教育学部）

推奨授業を受賞して

すばらしい授業実践をなさっている先生方が多数おられる中、このような賞をいただき、嬉しくも、大変身の引き締まる思いです。この「ボディーワークⅠ(M)」の授業は、運動・身体活動を通して健康に関わる資質・能力の向上を図ることを目的としています。授業のポイントとして以下の三点が挙げられます。一つめは体力年齢の算出です。この授業は、主に体力レベルが低い学生を対象としているため、体力年齢が40歳、50歳といった学生も少なくなく、この結果が受講のモチベーションにつながるようです。二つめが学習カードです。毎回、授業で学んだこととその活用について記述してもらいますが、加えて、この一週間の健康状態、運動・食事・睡眠などの健康行動を振り返ってもらい、学生自身の日常生活を整えるためのツールとしています。毎回、全員の学習カードに目を通し、コメントを入れるのは大変ですが、学生の様子が良く分かるとともに、個別にアドバイスができるので大切にしています。三つめが、学生間のコミュニケーションの促進です。毎授業必ず、学生同士が関わって活動する時間を設けおり、授業後の感想には「授業を通して新しい友達ができた」、「これまで話をしたことがない同じ学科の人と話すことができた」などのコメントが寄せられます。最後になりましたが、酷暑あるいは厳寒の時でも、熱心に受講してくれる学生達に感謝いたします。

情報基礎教育専門部会推薦

情報処理概論

担当教員 菅谷　克行（人文学部）

推奨授業を受賞して

本授業は、大学での勉学・研究のみならず卒業・就職後の諸場面で安全かつ適切な情報処理・活用ができるようになることを目標とし、基礎知識の修得と実践的な演習を通じた情報スキルの獲得を目指しています。授業実施上で留意していることは、１）教えすぎないこと、２）学生が取り組みやすい題材を用いることです。１）については、アクティブ・ラーニングの諸手法を参考に、学生個人の演習時間とグループ学習の機会を多く設けるようにし、学生個人が深く考え工夫する活動と学生同士で議論したり教え合ったりするグループ活動を有機的に組み合わせるように心がけました。２）については、学生の身近な話題を説明資料や演習題材に取り入れたり、その場で学生に演習題材を考案・提案させたりして、学生が授業・演習内容に能動的かつ楽しみながら取り組むことを促すようにしました。

ICTの活用が当然となっている現代社会において、この授業で身につけた知識・スキルを、今後の諸活動で積極的に活かして欲しいと願っています。

本授業はTA (Teaching Assistant)・SA (Student Assistant) の協力と、受講学生の積極的な参加によって成り立っています。授業に関わった皆さんに感謝すると同時に、クラス全員で受賞の喜びを分かち合えたらたいへん嬉しく思います。

“茨城学”を紹介します!

大学COC事業の採択を受けて平成27年度から、教養科目に総合科目・地域志向系科目「茨城学」が必修科目として開設されています。
すでに前学期に人文学部及び教育学部の学生が受講し、後学期は理学部・工学部・農学部の学生が受講します。

「茨城学」とは.....

茨城を学ぶ

自然　地理　歴史　文化　産業

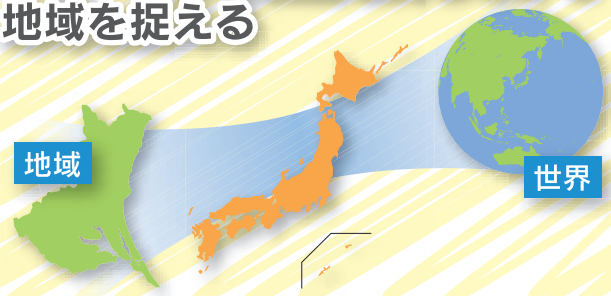
茨城県の風土や特色について理解を深める

茨城を学ぶことで地域の課題を知る

地域の特徴を、
地域の発展にどのように活かすか、考える

友人や教員や地域の方々と意見を交換し、
考えを深める

グローバルな視点を持ちながら地域を捉える



皆さんは社会に出れば、どこで生活しようと地域の中で生活し、そこに住む人々と関わることになります。それぞれのコミュニティの中で、大学で身に付けた知識をいかに活かすかを探すことになるでしょう。地域の課題を考えることは、地域の未来を作ることになります。そのとき、〈グローバル〉な視点を持ちながら〈地域〉を捉えていく視点が大切になります。

授業内容（平成27年度前学期の例）

前半

茨城大学の各学部の教員がその専門知識と独自の視点から、茨城をテーマ別に鋭く切り込みます。

第1回　オリエンテーション
第2回　茨城の自然資源を活用した地域振興と世界への情報発信
第3回　茨城の歴史と風土を活用した地域振興
第4回　茨城の農業を生かした地域振興
第5回　科学技術による地域振興と世界への情報発信
第6回　グローバルな視野を持って地域に貢献できる人材の育成
第7回　世界へ発信しよう茨城の美術と文化
第8回　大学と連携した市民の活動と地域振興

後半

茨城大学の連携する市町村の担当者が、自治体の特徴や展望について話します。

第９回　茨城県
第10回　振り返り・地域における地元企業の存在
第11回　水戸市
第12回　日立市
第13回　阿見町
第14回　常陸太田市
第15回　地域志向教育の発展と展開～ PBL授業へつなぐ

一回ごとの授業では、まず講師が地域のそれぞれのテーマで講義を行い、次に学生はそこで提示された課題について「振り返り用紙」を記入します。自分の考えをまとめたところで学生同士で意見交換し、さらに講師とディスカッションをします。

皆さんの主体的な学修を求める授業です。積極的な授業参加が必須です。毎回の授業にスタッフがつき、グループワークなどを支えます。

受講生の声

私は出身も育ちも茨城県で、最初「茨城学」で学ぶことなんてあるのだろうかと思っていました。しかし、県内生でも知らないことがたくさん盛り込まれた講義で、毎回発見があり面白いです。近くの学生と意見交換や情報共有をして学んでいます。

県外の学生として、最初に茨城学のことを聞いた時はとてもいいと思った。私が地元の山梨のことを把握しているかというとそうではないので、地元のことを学べる茨城学はとても為になると考えた。茨城学の授業で一番印象に残っているのは、岡倉天心の話だった。岡倉天心がなぜ、どのように建造物を造ったのかが見えてきてとても興味が沸いた。

大学教育センターの基礎教

総合英語プログラム

皆さんは、前学期に週2回「総合英語」という授業を受講しました。また、後学期も総合英語を受講します。そもそも「総合英語」って何でしょう？

総合英語とは、英語を「読む」「書く」「聞く」「話す」ことができるようになることを目標とした英語教育プログラムのことです。英語のレベルは人それぞれなので、それぞれのレベルに応じたクラスからスタートし、徐々にレベルが上がっていくシステムとなっています。そのため、前学期でプレレベル３の単位を修得した学生は後学期でレベル３の授業を、前学期でレベル３の単位を修得した学生は後学期でレベル４か学術英語を、レベル４の単位を修得した学生はレベル５か学術英語を履修することになります。それぞれのレベルは、「ヨーロッパ共通参照レベル（CEFR）」という国際的な基準に沿って学習内容が設定されていて、学期末には　TOEIC®　を受験することで就職の際に必要とされる英語力を知ることができるようになっています。皆さんが後学期に受講する総合英語は、前学期に履修したプログラムの継続です。後学期も頑張ってください！

TOEIC®とは

TOEIC®とは、Test of English for International Communication（国際コミュニケーション英語能力テスト）の略称です。試験問題は、リスニング100問、リーディング100問（計200問）。満点は990点で試験時間は約2時間となっています。世界約150ヵ国で実施されており、日本でも毎年たくさんの方が受験しています。大学では、クラス分けテストとしてTOEIC®を採用しているところが多いですが、やはりよく耳にするのは企業における活用についてです。グローバル化が進む昨今では採用条件や昇進・昇格要件として「TOEIC®　〇〇〇点以上」と、具体的なTOEIC®の点数を提示している企業も少なくありません。「就職活動の準備」という意味でも、TOEIC®の学習をしっかり行っていきましょう。

英語学習相談

総合英語の自主学習の仕方を教えて!
社会人として必要な実践的英語力って?
TOEICのスコアを伸ばしたい!
留学のためにはどんな学習をすればいいの?
英語でのコミュニケーションを上達させたい!

総合英語学習相談室

日時 月・火・水・木曜日の12:30～14:30
場所 図書館2階グループ学習室
内容 英語の授業での疑問、学習方法など、質問や相談に、専任教員がお答えします。

英語学習個別カウンセリング

日時 金曜日の13:00～19:00［原則事前予約］
場所 図書館2階グループ学習室（個人対応）
内容 専門のアドバイザーが実用的な英語運用力、留学のための英語コミュニケーション力の修得等、多様かつ効果的な学習方法等について個別相談に応じます。TOEIC受験対策も。

英語コミュニケーショントレーニング

日時 水曜日の13:00～19:00［原則事前予約］
場所 図書館2階グループ学習室（個人または複数人対応）
内容 ネイティブスピーカーとの気軽なコミュニケーションによってリスニングやスピーキングを実践し、スキルを向上して自信をつけましょう。

＊詳細日程や事前予約は、学務課履修指導グループ（共通教育棟１号館１階）まで。

育

理系基礎教育

①統一授業

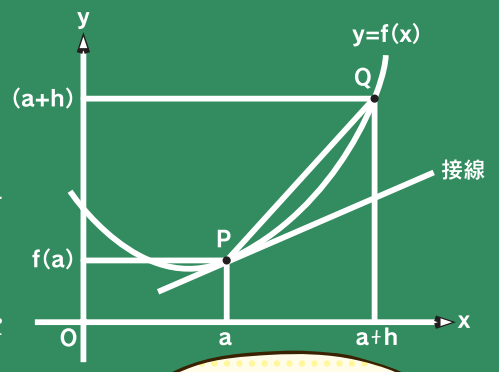
茨城大学工学部では、微分積分と力学といった基礎科目に対してムラのない統一的な授業を展開しています。

②苦手科目でも大丈夫

統一授業ではついて行けるか不安な学生も、別のカリキュラムによりきめ細かな授業を行うことで対応しています。

③理系質問室

授業だけではどうしても理解できない学生のために、大学教育センターでは理系質問室を開設しています。



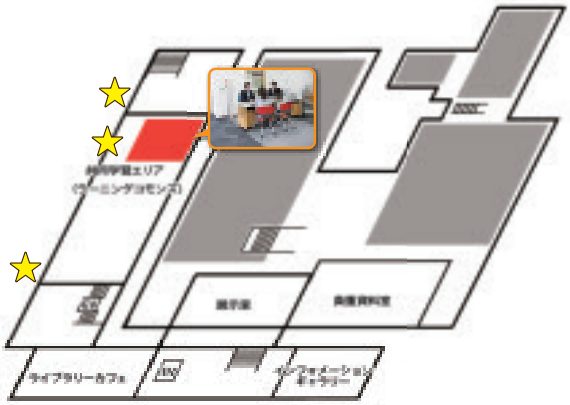
微分？速度？

授業内容が解らなくなった時は理系質問室へ行こう！

茨城大学 理系質問室
理系の質問相談大歓迎!!!

オープンに対応できるように、図書館に開設！

★のぼりが目印!



大学の専任教員や先輩たちに気軽に質問！

工学部の学生はもちろん、他学部の学生も歓迎！

日時 12:00～13:00（月・火・水・木に開室予定）

場所 図書館西棟1階共同学習エリア（ラーニングコモンズ）

内容 数学・物理などの理系科目に関する質問を受け付けております。「授業で分からないところがある」、「演習問題の解き方が分からない」など困ったことがあれば理系質問室まで来てください。

後学期を迎えるにあたって

先輩からひとこと

選択の自由

農学部生物生産科学科3年 **吉田 開**

まずは輪を広げることが重要です。サークルの先輩や友人に就職や講義に関する話を聞いたり、先生には授業や興味のあることについて質問や相談をするために研究室などを訪れてもいいかもしれません。様々なキャラクターを持つ人と接してどんな人とでも会話できる対応力をつけることが必要です。

次は勉学についてです。農学は生物が持つ現象などを農業へと還元し、より良い技術を寄与することにあります。なので、現象をどう応用するかが重要になってきます。そのためには講義内容を理解し、それについて深く考えることが必要だと思います。また留学プロジェクトなどもありますので是非参加してください。今年、僕も参加します。

意味ある選択をして、充実した学生生活を送ってください。

今やっておきたいこと

工学部知能システム工学科４年 **入倉 吉弘**

10月に入り、水戸での生活に慣れてきたことでしょう。２年生になると、工学部生と農学部生はそれぞれ別のキャンパスへ移ります。工学部生が２年生から通う日立キャンパスは、空気がきれいで、勉強しやすい環境です。キャンパスを移ることで、その分野に特化した活動が行える利点がある反面、他学部生と会う機会が少なくなるので、今の他学部生との交流を大切にしましょう。

勉強面について、２年になると専門科目の割合が高くなるので、１年生のうちに教養科目の単位をしっかり確保することをお勧めします。

最後に、何かに集中している時間はあっという間に過ぎてしまいます。大学生活も同様で、本当に短く感じます。後に振り返ったとき、悔いがない大学生活が送れたと言えるように、勉強やサークルなど充実した生活を過ごしてください。

編集後記

いよいよ後学期ですね。入学して最初の学期は、自然と新たな気持ちで臨めるけれども、慣れてくるにつれて段々と… ４年間という限られた時を大切に過ごすため、毎学期を新たな気持ちで迎えられるといいですよね。（お）

大学１年目の夏休みは、本当に大きい。今までの経験から言って、多くの１年生が夏休みを境に一気に垢抜けたり、大人になったりします。前期に指導していた学生がどうなったのか会うのが楽しみです。（ふ）

暑い夏も終わり、過ごし易い日になってきました。時間が過ぎるのは本当に速いもので、手付かずのまま残っている目標もあるのではないでしょうか？気持ちを新たに取り組んでいきましょう。（こ）

発行日◆平成27年10月 ／ 発行者◆茨城大学 大学教育センター 茨城県水戸市文京二丁目１－１ ☎ 029-228-8414